

東京都退職校長会

世田谷支部会報



夜間中学雑感
副支部長 河西靖堯

私の教師としての出発点は夜間中学でした。東京都に初めて夜間中学が開設されたのは、足立区立第四中学校です。当時の足立区は都内でも際立って貧困家庭が多く、子どもも働かなければ生活が成り立たないという状況でした。中学生の6〜7%が長欠生徒でした。昼間は家計を助けるために働き、夜ならば登校したいという生徒を前に、伊藤泰治初代校長は、教師をはじめ地域や区、都の教育委員会等各方面に熱心に働きかけて、夜間中学の開設に踏み切りました。その見識と決断力には頭が下がります。

私が足立四中の夜間（二部）に就職したのは、開設10年後の昭和36年4月でした。その頃になると日本の戦後経済も復興してきたことから、一時期三百人近くまでいた生徒は激減、この年に担任した一年生は25人でした。当時の教え子の作文を今も大切に保存していますが、そのいじらしさ逞しさに涙が出ます。

第96号

令和5年1月15日

発行責任者

支部長 鈴木眞子

世田谷区若林5-29-6

03-3419-3161

生徒の減少が続くなか、行政管理庁から、「夜間中学早期廃止勧告」が出されました。夜間中学存続の危機を迎え、教師、生徒、卒業生、地域の支援者等で廃止反対の運動が起こり、「夜間中学の法制化」を求めて文部省都教委、議会等各方面に度々陳情を繰り返しました。その頃から日韓、日中の国交正常化が進み、引揚げ・帰国者の日本語教育のための学級が夜間中学に設置されました。それで生徒数が増加し、夜間中学廃止の動きは弱まってきました。

昭和56年、私は諸般の事情から20年を区切りと決め、後ろ髪を引かれる思いで昼間の中学へ移りました。転勤先は校長の勧めで千代田区の麹町中でしたが、偏差値70以上の生徒が30名を超える進学校には驚きとまどいました。9年後には九段中へ、次は一橋中、最後に世田谷の富士中へと異動しそこで退職しました。

平成28年、教育機会確保法成立によって夜間中学はついに法制化され、念願がかないました。夜間中学は、教育の原点であり、良心だと思っています。



○新旧理事歓送迎会

令和4年7月8日、三軒茶屋銀座アスターに於いて開催されました。
厚生部長代理 長峰 春樹

当日は、松本保枝前厚生部理事と、新しく役員になられた入佐克子監事をお迎えして終始和やかに楽しく会が進められました。

祝 叙 勲・表彰

◇高齢者叙勲「瑞宝双光章」

梅田 庸夫 (玉川10)

◇世田谷区政90周年「特別文化功労賞」

鬼塚 満寿彦 (砧 3)

役員会・理事会・事業等の記録

7/8〇新旧理事歓送迎会開催

8/22〔役員会〕 コロナ第7波で理事会中止

- ・支部長〓会員動静逝去1名
- ・本部厚判名簿第一回校正済み
- ・庶務部〓4年度会務・事業日程決定
- ・体験発表(11月)は八木一龍理事に
- ・厚生部〓部長理事欠員で、当面役員が部長代理と補佐を務める
- ・生涯学習部〓秋の一日見学研修は中止
- 会報(支部95号、都、全国)支部会員名簿配布発送

9/15〔役員会〕

- ・支部長〓理事不足解消のため候補者名簿を元に検討、勧誘を続ける
- ・庶務部〓教育懇談会、小中学校長会長に依頼済み
- ・会計部〓会費納入状況
- ・会報部〓96号編集計画
- ・厚生部〓1月新年懇親会実施の予定
- ・生涯学習部〓3月の講演会、区広報に「お知らせ」を掲載し区民参加を促す

10/28〔役員会・理事会〕

- ・支部長〓支部会員動静特になし
- ・令和5年度長寿該当者7名
- ・本部厚版名簿70周年事業等の進捗状況
- ・庶務部〓5年度総会懇親会の日程と会場決定

- ・厚生部〓新年懇親会1月12日 銀座アスター

- ・生涯学習部〓3月講演会「終活」

- 会報(都、全国)等配布発送

〇教育懇談会開催

11/21〔役員会・理事会〕

- ・支部長〓会員動静逝去1、高齢者叙勲・世田谷文化功労賞各1、世田谷支部規約改正、都本部70周年事業進捗状況等
- ・庶務部〓5年度会務事業日程原案
- ・会計部〓会費納入状況
- ・会報部〓96号編集校正中
- ・生涯学習部〓3月講演会多数の出席を

- 体験発表実施「マイウェイ」八木理事

都本部の動きと連携

副支部長 長峰春樹

- (1) 会員名簿(5年に一度の厚版)は六百部作成、各支部へ会員数に応じて数部ずつ配布支部会員の互助と親睦、支部間の連絡等に活用を

- (2) 4年度の会費収入は会員の減少で約38万円少ない、事業内容と執行を慎重に

- (3) 第2回会員研修11/18本部ビルで実施

- (4) 70周年記念品として全会員に記念誌と4色ボールペン配布

- (5) 創立70周年記念式典他令和5年5月16日

調布市文化会館、式典次第の詳細決定、記念講演「都一中・了中氏の浄瑠璃」

- (6) 式典出席者数は各支部会員数に応じて割り当てる(世田谷支部は8名)

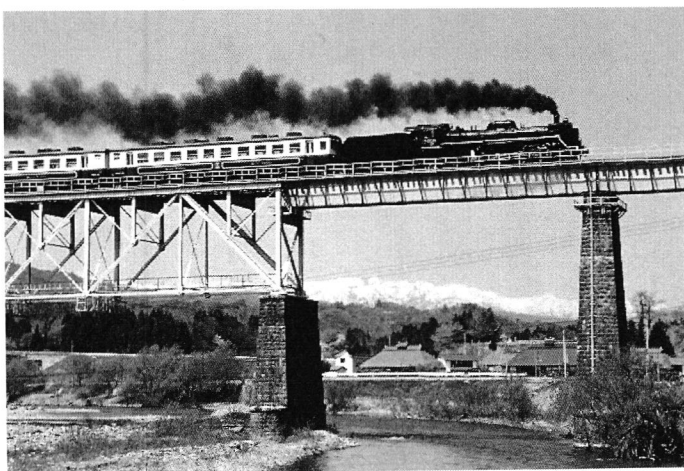
- (7) 70周年記念誌「世田谷支部の10年」の原稿は鈴木支部長が提出済

応募コーナー

退職後も元気な頃は、重い撮影機材を担ぎながらテクテクと田舎道を歩き撮影ポイントを探し回っていました。その頃の1枚です。

撮り鉄引退 今井 孝

たなびく黒煙と冠雪の飯豊連峰(磐越西線)



白寿を迎えた方から

お陰様で

石井 達子

この春、九十九才を迎えました。皆様にお祝をしていただき、ありがとうございます。

長年、皆様と一緒に子ども達の教育に携わる事ができ、楽しく幸せでした。

どうか、皆様も御身お大切に、おすごしく下さいませ。

米寿を迎えた方から

わたしの癖

中村 政靖



なくてはな癖といいますが、人にはいろいろな癖があるようです。私は、子どもの頃から物を集めるというか捨てないでとっておくという癖です。きれいな包み紙、空き箱、切手、絵はがき等、喫煙していた頃は煙草やマッチの空き箱も、とにかくきれいな色や素敵な図柄や形をした物はなかなか捨てられない人から見ればガラクタにみえても、取っておけばいずれ何かに役立つのではないかと。担任時代には、図工の教材として空き箱や包装紙などが役立ちました。また、BOPに勤めていたころ、短くなつてもためておいた鉛筆や裏が印刷されていないチラシの紙などは、雨で外遊びができない日には大いに役立ちました。お金はなかなかたまりませんが、ガラ

クタのような物はすぐ溜まります。ただ溜めるだけでなく、それを有効活用していくことが大事だと思い、使いみちを考えながら適当に集めたり処分していこうと思っています。

米寿を迎えて

宮腰 郁朗

山坂の多い旅の道を越えて八十八歳にたどりつきました。還暦の六十歳では赤い祝着を徹夜で縫い上げてくれた先生、大事にしておりま。還暦、古稀、喜寿、傘寿、米寿を迎えました。次に待っているのは卒寿。年齢に卒業はありません。人生百年時代白寿九十九歳までは頑張ります。茶寿百八歳、皇寿百十一歳は次の世界で迎えます。白寿前半までは散つて行った仲間を迎えに来ないようと言つております。先生方、保護者の方々に支えていただきました。家族にも恵まれました。節目節目の会食、記念旅行のプレゼント。メールによる近況。妻の存在も大、感謝です。日課としては朝食後十分間のストレッチ、回数、時間は少なくなりましたが続けております。ノロノロ歩き四千歩のウォーキング、姿勢がいいねとオバサン達に言われております。

米寿にちなんだ近況です。

時の流れるままに生きています

今井 孝

歳を重ねる度に月日が過ぎるのを早く感じ

るこの頃です。何でだろう。退職した当時は「あれもやるぞ、これもやるぞ」と張り切つて取り組み充実感を覚える日々を過ごしていました。しかし、80歳を過ぎる頃から体力の衰えが目立ち、思うように体が動かなくなりました。そうなる今までやって来た事を一つ二つ...と手放しています。

一番寂しかったのは56年間撮り続けた鉄道写真の止めた事です。特に蒸気機関車(SL)は私の最高の好みでした。同時に撮影で知り合つた鉄友達も大勢出来て、その中でも3人とは気が合い撮影には一緒に出掛けたり、毎年飲み会を開いたりしていました。その鉄友達も高齢と病で他界。私だけになりました。今は何もする事も無く、あつても出来ず、ただボーツと生きている日々です。

末筆に皆様のご健勝をお祈り致します。

米寿を迎えて思うこと

岩田 健一

健康と長寿は、人類の願いであり、理想でもあります。年をとることを、出来ないことが増える嫌なもののように捉えがちですが、年を重ねるのは大事なことです。『愛づる』という気持ちで考えることを、大切にしたいかなければならないと思っています。

ところで、ウクライナ情勢を見ていると、人の命を何と考えているのか。戦争している暇なんかありませんかと言いたい。地球環境のこと、世界的な貧困、限られた資源、あらゆる

る角度から考えても、戦争でむだに使えるものは何ひとつない。戦争は権力闘争の最も嫌な姿でないでしょうか。

人類も生きる物の一部という視点からすると、競争よりも『共生』です。生き物それぞれが、一生懸命生きて、その上で共に生きるのが一番いい。皆がそう考えて、他者に謙虚に生きれば、地球はもつと暮らしやすくなると思います。

雑感

最近ウクライナ情報を見聞きする度に幼少時の記憶が蘇ります。 嶋田 倫也

太平洋戦争の開戦は私が国民学校一年生、終戦は小学校五年生の時です。当時は警戒・空襲警報が連日鳴る度に恐怖感を覚え、解除の警報を聞いてホッとしたことを思い出します。当時は食糧難で食生活も大変でしたが、全てがお国のためという一心で耐えてきたものです。今にして思えば当時の両親の子育てのご苦労に感謝です。ウクライナの市民も恐怖の日々を過ごしていることでしょう。一刻も早く平和が戻ることを願っています。

私は八月、突然喉に異変を感じ、抗体検査キットで診断した結果コロナの陽性反応。早速医療機関で受診、翌日から毎体温計と。ハルスオキシメーターで体調観察、十日間の自宅療養で完治しました。今は体力・知力を維持管理しながら日々元気に過ごしています。

喜寿を迎えた方から

何のために生まれて

何のために生きるのか



水上 芙佐子

この度は、喜寿をお祝いしてくださりありがとうございます。さらに、これまでのご指導・お励ましに、厚く御礼申し上げます。退職後、旅したエジプトのピラミッドの前に立った時、ふと私の胸にアンパンマンの曲の歌詞「何のために生まれて、何のために生きるのか、答えられないなんて、そんなのは嫌だ」が浮かびました。

歳を重ねた今、人間は幸せになるために生まれたこと、そのために自分とはもとより、周りの人に喜びを与えられるような生き方をすることだと思ふようになりました。「父母もその父母も我が身なり、我を愛せよ我を敬せよ」という二宮尊徳の道歌があります。まさに、自分で自分を敬う生き方であると思うのです。

いつまでも、自分にできることに全力を注いで輝き続けたいと思います。

激動の時代を生き抜いて

成田 義則

昭和20年8月15日、世界の国々を巻きこんだ第二次世界大戦が、日本のポツダム宣言受諾を受けて終了した。日本にとっては新た

な出発をした記念日でもある。

戦後の歩みの中で民主的な国づくりが行われ、産業も大いに発展した。特に電化製品の進歩がすさまじく、テレビ、洗濯機、冷蔵庫が全国に普及した。また、自動車の値段も下がり、高速道路網が整備され、日本全国の物流がより円滑に進むようになった。新幹線は国内の往来をより便利にし、人の交流を高めている。

私は、今年の8月31日に喜寿を迎えたが、特に大きな変化はなく、これまで生きてこられたことに感謝している。また、人との接点を持つことのできる教師として、多くの子どもたちと触れあってきたのは、大変ありがたいことと、感謝している。

教師として足らざることも多かったが、これから先も、初心を忘れずに生きていければ幸いである。

継続は生きる力の源なり

稲田 正克

喜寿を迎え、退職して17年、退職後も17年以上継続していることが多々ある。このことが私にとって退職後の生活を楽しくし、生きがいとなっていると強く感じる。

親子ミニバレー教室、初心者水泳教室などのスポーツ指導。奈良正倉院展の鑑賞、京都奈良での寺社巡り、仏像や庭園などの鑑賞。サッカー好きの私の楽しみ、サッカー天皇杯

決勝戦(40回を越える)、日本代表の試合観戦。家のマンションの花壇の花植え(春はサルビア、冬はパンジー百二十鉢)。現役時代から続けていることもあるが、今後も続けていくことの楽しさを大事にしていきたい。

近ごろ、体力の衰えや体の老化が出てきているが、最近誕生した孫(三歳の女の子、八ヶ月の男の子)と顔を合わすことで、継続していくことの新しい次の挑戦意欲が、さらに湧いてきた。

喜寿に寄せて

土屋 貞樹

先般、付近にお住まいの支部長鈴木様より、過分なお祝及び都の記念品をお届けいただきました。誠にありがとうございました。

喜寿を迎えて、74歳で他界した祖母を振り返った時、当時は随分老け込んでいた印象をもっていました。その歳を超過している私を孫達はどのように感じているのでしょうか。

さて77という数を考えてみると、一般的に7は好運だと思われています。私にはラッキーナンバーが二つあり、7はその一つに入っています。六月に入会したテニス部の秋季大会が先日あり、7の好運のおかげだったのか優勝することができました。メンバーの皆様方からいただいた祝福に感謝しています。

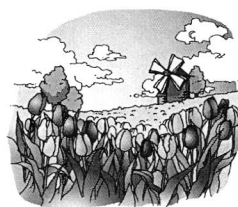
この喜寿を区切として、仕事や趣味のゴルフそしてテニス等一層健康に留意しつつ、せ

めて両親の他界した歳を超えられるよう残りの人生を過ごしていきたいと思っています。

古稀を迎えた方から

七十歳と今

國宗 功



今年は何かが違うなと思い考えを巡らせる、我が年齢が七十歳の太台に乗るという年であった。実際には正月に七十歳になる年を概観し、誕生日の八月一日が近付いた七月に入ってから、その期日を意識し始めていた。その頃までに、車検や車輛保険切り替えなど実務的な事柄が気持ちをアップさせてくれた。妻が亡くなって、一年と九ヶ月、保険等の内容は保険会社との連携で進むが、書類や資金等の出所について妻の手が無いことに戸惑わされている。妻への依存の多きこと。

二年ほど前、妻とよく話していたのを思い出す。七十歳になったら、国内ドライブやカナダ・スイスへの旅、庭の草取りや花壇の造成など、時間をかけて、共に、じっくりと取り組むことであった。

「語り合い」を修正しながら日々の健康づくりと共に、少しずつでも実現を図りたいと思う今日この頃である。

古稀でも地域に貢献

八木 一龍

七月に、古稀になりました。自分が古稀になったことが、信じられない思いです。

週四日仕事をしていますが、休みの日は、横浜市の学校支援等を行っています。

七月に、放課後クラブに、ボッチャの指導に行きました。地域で活動している高齢者と共に、子ども達と交流をしました。「楽しかった。またやりたい。」と喜んでくれました。九月には、新治里山公園で、生活科の学習支援を行いました。テーマは「秋さがし」、里山周辺を歩きながら、稲やさつまいも、花、木々を見たり、木の実などを拾ったりしながら秋を感じました。

古稀でも地域に生き、自分の経験を活かして貢献し続けます。



教育懇談会の記録

令和4年10月28日、教育総合センターにて恒例の小・中学校校長会会長との懇談会が行われた。コロナ禍の影響もあり、会員の出席が少なかつたのは残念である。支部長挨拶に続いて両校長会会長の紹介とお二人のご挨拶があり、本題へと移った。



小学校校長会会長 青鹿和裕用賀小学校校長
中学校校長会会長 加藤敏久桜丘中学校校長

1 青鹿和裕小学校校長会会長より

世田谷区立小学校は61校、4年度の校長人事異動で14校の校長が代わった。再任用校長は7名である。

コロナ禍への対応をしながらの学校経営も3年目、緊急事態宣言は解除されたが、依然として学級閉鎖も相次いでいる。

宿泊行事では、3年度は秋や冬に実施した日光林間学園が、今年度は夏に実施できた。川場移動教室は一泊で実施、一部屋の人数を少なくしたり、大規模校は2回に分けたりして実施している。

児童・教員に一人一台タブレットが配付された。児童らは覚えるのが早い。オンライン授業も実施できるようになったが、通信がつかない等の問題もある。

運動会の規模縮小や2学年ずつ実施するなどの工夫もされている。

多々問題があるが、各校の創意工夫と柔軟な考え方が学校運営に求められている。

2 加藤敏久中学校校長会会長より

区立中学校は、29校である。中学校では、知識の詰め込み授業から考える授業への転換が求められている。しかし、高校入試や塾との兼ね合いもあり、知識優先になることも多く、課題でもある。

今年度入学の一年生が落ちつかない。人間関係が上手につくれない。宿泊行事等の中で養われるものが、コロナ禍の影響か、人への思いやりが薄い。

修学旅行は行われたが、京都、奈良は人も多く、クラスターも起こっている。

マスクを外さない生徒も多い。熱中症の心配もあり、健康安全が大切と感じている。これからの教員は、ICT活用能力と、障がいのある生徒への理解及び支援する能力が必要である。

また、10代20代はZ世代とも言われ、生まれながらのデジタル世代である。集団よりも個の時代となり、価値観も変わってきて、みんなでやるという意識が薄れている。40代以上の教師が悩む時代でもある。

さらに、制服(標準服)や校則の問題にも触れなくてはならない。

3 意見交換と懇談

・不登校が増えている現状と、その解決の

手だて

- ・ICT活用と家庭での利用のあり方
- ・人と人との関わりをいかに構築するか
- ・教員不足の実態と、教員補充をどのようにするか等、たくさん意見交換がなされた。

(庶務部長 高橋明嗣)

体験発表



「マイ・ウェイ」(わが道)

発表者 八木 一龍 氏
期日 令和4年11月21日

今回の発表は、八木氏が教職を退職してから現在まで、人との関わりを大切に社会に貢献し真摯に取り組んできた実践、そして、今後を健康で生きがいをもって生きていくには何が大切かを提示したお話だった。

一、退職後の道

八木氏は町田市で校長退職後、①町田市教育委員会指導課②町田市教育センター適応指導教室で、主に不登校児の支援、学校復帰に向けての教育相談を行った。その後、③横浜市放課後デイサービス「おもちゃ箱」④都立光明学園で障がいのある子ども達の生活や学習支援等を行った。現在は、⑤渋谷区教育センターで不登校児童の支援や保護者への相談等で学校及び関係機関との連絡・調整を行っている。

二、老年期の道

退職後、なかなか地域デビュー出来ない高齢者が多い。八木氏は、ジェネラティブティ（次世代の価値を生み出す行為に積極的に関わる）の大切さを意識して、現在居住の地域で以下の実践をしている。

これまでの経験を活かし①地域コミュニティサロン「希望カフェ」②地域コミュニティスポーツ「ボッチャ」の運営・活動に積極的に関わり、多世代交流の輪を広げている。①では、特に高齢者の方が気軽に寄れる憩いの場、交流の場としての居場所づくり、②では子ども、高齢者、障がいのある方の誰もが、どこでも簡単にできるスポーツ「ボッチャ」の活動の推進である。

これらの活動を続けていくうえで、八木氏は次の五つを意識化し実践している。

(1) 仕事をする事

現在、スクールソーシャルワーカーの仕事をしているが、そのことで規則正しい生活リズム、人間関係づくりが出来、良いストレス等を感じることが出来る。

(2) 運動を継続すること

グランドゴルフ、ボッチャ等の運動継続は健康増進はもとより、地域の人との交流を深める。そして、よりよい人間関係づくりはストレス解消につながる。

(3) 他の人の役に立つこと

パラスポーツ等の障がい者支援を通してボランティア意識を高め、共助・互助に役立て

る。また、地域の活性化とともにインクルーシブ社会を展開する。

(4) 新しい学びを行う

特別支援教育士、健康管理士等の資格を取得する、放送大学で学ぶ等、流動性知能を高め、結晶性知能を維持する。学ぶ仲間ができて仕事や趣味に役立つ。

(5) 地域の活性化を図る

神奈川県生アアドバイザー、障がい者スポーツ指導員としての活動を活かす。自分の役割と地域の情報を得て、地域の人々にとって住みよい街づくりに役立てる。

三、これからの道

健康で生きがいのある社会を目指して、これまでの経験・実践を土台に、課題を見つけより充実した実践につなげる。

(1) 健康・生きがいづくりアドバイザーとして、ボッチャ交流会や大会の実施、ポールウォーキング等の活動をする。

(2) 地域の活性化で共生社会を創る活動、行政や関係機関との連携を図る。(ケアプラザ、近隣学校、地域との連携・協働)

最後に、八木氏は「ちがいを認めちがいを力にしていける」大切さを語った。インクルーシブ社会の実現である。子ども、高齢者、障がい者等を含め、だれもが健康で生きがいをもって生活していける社会づくりである。

他者のため社会のために自分のスキルを上げ活動続ける、貴重な体験発表であった。

(会報部 波角政行)

新入会員紹介

ようこそ世田谷支部へ

平成22年3月末
東深沢中退職

「入会にあたって」

山崎 勉

退職後十余年、遅ればせながら新入会させていただきました。

当時、身辺繁忙にて、入会が遅れましたことを悔やんでおります。

最近の学校教育の動向を一步退いた立場から概観するに、教育のデジタル化においては我々の時代では考えられない進展が見られます。特に、このたびのコロナ禍での電子機器使用によるリモート学習の発展には目を見張るものがあります。物事には全て「日向」と「影」があります。それを弁えながら大いに活用してほしいものです。

現在74歳。保護司、社会教育委員、世田谷美術館友の会世話人など、できる限りの社会への恩返しのため活動とともに、生涯大学生として勉強の一念を保ちながら、余生を全うするつもりでいます。

どうぞよろしく願っています。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

中村充孝様	87歳	令4・7・5	玉川
浮谷司朗様	93歳	令4・11・6	世田谷

3月講演会のご案内

人生が終わるまでに、誰もがやっておきたいこと、それは『終活』です。

私達が亡くなった後で、配偶者や子ども達が「連絡はどこに、誰が何を相続するの？」等よくわからないために、右往左往するという話を時々耳にします。

いざという時のために、何をどうしておくべきか、終活について専門家から学びましょう。

◇日時 3月17日（金） 14時～16時

◇会場 世田谷区立教育総合センター

2F「ほし」

◇演題 終活「いざという時のために」

◇講師 株式会社 東京都民

互助会支社長 金澤秀行 氏



当日は世田谷区民にも呼びかけてあり、コロナ対策を十分講じて実施します。

生涯学習部長 碓井恆夫

― 予 告 ―

令和5年度世田谷支部定期総会・懇親会

・期 日 令和5年5月26日（金）

11時30分より

・会 場 銀座アスター（三軒茶屋）

編集後記

◇新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が懸念されています。皆様、くれぐれもご自愛ください。

歳を重ねるごとに、生まれてきた奇跡、生きていくことの奇跡を感じずにはおれません。そして、人とのご縁が人生を豊かにすることを実感しております。皆様の文章一行一行に垣間見えるお姿から、たくさんことを学んでおります。

執筆いただきました方々に、深く感謝申し上げます。（水 上）

◇日本の人口における百歳以上の高齢者が、初めて9万人を超えたそうです。然るに、退職校長会世田谷支部会員一二六名の平均年齢は80・3歳。80歳以上の方が66名と半数を超えています。この10年間で会員数は約50人減少し、高齢化も徐々に進んでいます。会員数の減少と高齢化によって、世田谷支部の組織・運営に支障が出始めているのが現状です。新入会員が、新理事が、一人でも増えるよう、ご協力をお願いいたします。（保 原）

編集担当

保原勝紀 水上英佐子 中野道代
波角政行 豊島修二 八木一龍

印刷所アゲイン 杉並区永福四―一―十一

5300―2834

ご希望のご予算に合わせて お葬式が執り行えます



ホームページ
東京都民互助会

直葬・家族葬はもちろん ご弔問の多いお葬式まで承ります

Well Life ウェルライフグループ

東京都民互助会 平安祭典

0120-849-544

株式会社 東京都民互助会 本社：東京都杉並区上荻3-15-17
営業本部：東京都練馬区北町5-18-15 3階 ウェルライフホール平安祭典練馬 内